

市立夜間中学の設置に関する有識者等会議

第2回会議

令和5年4月27日（木）

13時30分～

ウインクあいち 9階903会議室

- ・ 「市立夜間中学アンケート」の結果について
- ・ 自主夜間中学「はじめての一步教室」の現状報告

1 名古屋市が設置する市立夜間中学のめざす姿

A 学校の方向性

B 学びの方向性

C 多様性への対応

2 その他

○ 諸連絡

市立夜間中学の設置に関する有識者等会議

委 員

氏 名	所 属 等
岡田 敏之	基礎教育保障学会 会長 元 京都市立洛友中学校 校長
椎名 渉子	名古屋市立大学大学院人間文化研究科 准教授
森 純子	愛知県教育・スポーツ振興財団嘱託員 元 夜間学級教科担当
西川 陽祐	名古屋市立小中学校PTA協議会 副会長
藤本 一人	名古屋市立前津中学校 校長
森 義裕	名古屋市立植田北小学校 教諭
大川 栄治	名古屋市教育委員会事務局 新しい学校づくり推進部長

事務局

氏 名	所 属 等
平松 伯文	新しい学校づくり推進室 室長
大杉 周三	新しい学校づくり推進室 主任指導主事
佐村 明生	新しい学校づくり推進室 指導主事
塚本 寛幸	新しい学校づくり推進室 主査
山本 会紗	新しい学校づくり推進室 主事

市立夜間中学アンケートの結果

【アンケートの概要】

調査期間：令和5年3月17日（金）～4月17日（月）

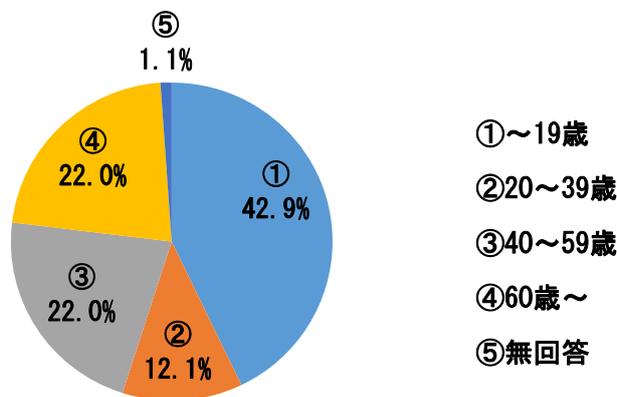
調査方法：インターネット、はがき付きアンケート用紙

アンケート用紙の主な配布先：

各区役所・支所、図書館、市内社会福祉協議会、各生涯学習センター、公益財団法人愛知県国際交流協会、公益財団法人名古屋国際センター、公益財団法人名古屋YMCA、ユースクエア（青少年交流プラザ）、教育センター（ハートフレンドなごや）、名古屋市教育会館、子ども・若者総合相談センター、子ども適応相談センター・笠寺サテライト・鶴舞サテライト、名古屋市博物館、名古屋市美術館、名古屋市科学館、愛知県生涯学習推進センター、市民情報センター、日本語教育相談センター、愛知県夜間学級 等

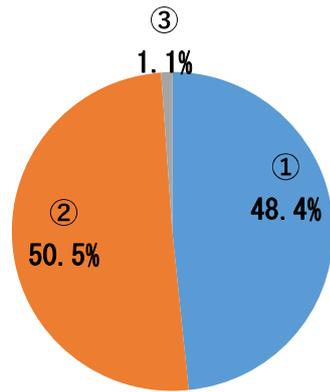
有効回答数：91件（インターネット32件、はがき付きアンケート59件）

Q1 あなたは何歳ですか。



選択肢	全体回答		国籍別内訳		
			日本国籍	外国籍	無回答
①~19歳	39	42.9%	8	31	0
②20~39歳	11	12.1%	6	4	1
③40~59歳	20	22.0%	14	6	0
④60歳~	20	22.0%	16	4	0
⑤無回答	1	1.1%	0	1	0
合計	91	100.0%	44	46	1

Q2 あなたの国籍を教えてください。

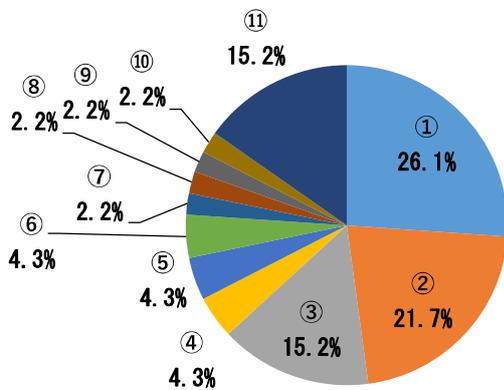


- ①日本国籍
- ②外国籍
- ③無回答

選択肢	全体回答		年齢別内訳		
			60歳以上	59歳以下	無回答
①日本国籍	44	48.4%	16	28	0
②外国籍	46	50.5%	4	41	1
③無回答	1	1.1%	0	1	0
合計	91	100.0%	20	70	1

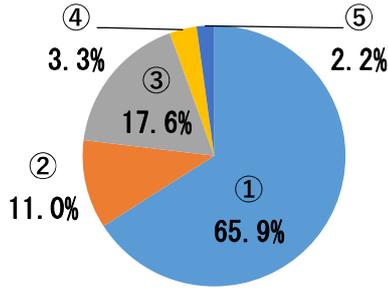
() は外国にルーツをもつ方の人数

「外国籍」と回答した方の国あるいは地域



- ①ネパール 12
- ②フィリピン 10
- ③韓国 7
- ④スリランカ 2
- ⑤ブラジル 2
- ⑥ペルー 2
- ⑦コロンビア 1
- ⑧中国 1
- ⑨モンゴル 1
- ⑩無国籍(難民) 1
- ⑪無回答 7

Q3 あなたは中学校を卒業していますか。

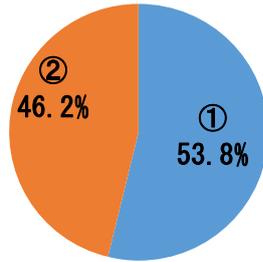


- ①卒業している
- ②卒業していない
- ③卒業はしたが、十分に通えなかった
- ④現在、中学生である
- ⑤無回答

選択肢	全体回答		年齢別内訳		
			60歳以上	59歳以下	無回答
①卒業している	60	65.9%	16 (3)	44 (28)	0 (0)
②卒業していない	10	11.0%	2 (1)	7 (6)	1 (1)
③卒業はしたが、十分に通えなかった	16	17.6%	2 (0)	14 (6)	0 (0)
④現在、中学生である	3	3.3%	0 (0)	3 (0)	0 (0)
⑤無回答	2	2.2%	0 (0)	2 (1)	0 (0)
合計	91	100.0%	20 (4)	70 (41)	1 (1)

() は外国にルーツをもつ方の人数

Q4 あなたの住所を教えてください。



- ①名古屋市内
- ②名古屋市外

選択肢	全体回答		年齢別内訳		
			60歳以上	59歳以下	無回答
①名古屋市内	49	53.8%	14 (1)	34 (11)	1 (1)
②名古屋市外	42	46.2%	6 (3)	36 (30)	0 (0)
合計	91	100.0%	20 (4)	70 (41)	1 (1)

() は外国にルーツをもつ方の人数

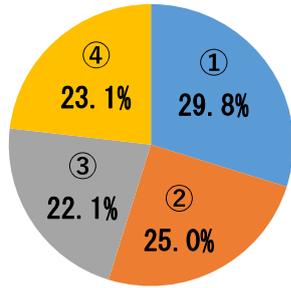
名古屋市内の内訳

千種区	東区	北区	西区	中村区	中区	昭和区	瑞穂区	熱田区
4	3	9	3	0	4	2	1	2
8.2%	6.1%	18.4%	6.1%	0.0%	8.2%	4.1%	2.0%	4.1%
中川区	港区	南区	守山区	緑区	名東区	天白区	無回答	合計
2	2	4	2	3	1	3	4	49
4.1%	4.1%	8.2%	4.1%	6.1%	2.0%	6.1%	8.2%	100.0%

名古屋市外の内訳

豊田市	岡崎市	安城市	豊川市	みよし市	知立市	小牧市	瀬戸市	東栄町	一宮市
12	6	4	4	3	2	1	1	1	1
28.6%	14.3%	9.5%	9.5%	7.1%	4.8%	2.4%	2.4%	2.4%	2.4%
刈谷市	春日井市	大府市	半田市	北名古屋市	尾張旭市	東海市	無回答	合計	
1	1	1	1	1	1	1	0	42	
2.4%	2.4%	2.4%	2.4%	2.4%	2.4%	2.4%	0.0%	100.0%	

Q5 夜間中学で学んでみたいと思いますか。または、夜間中学のことを知らせたいと思う人があなたのまわりにいますか。（いくつでも回答可）

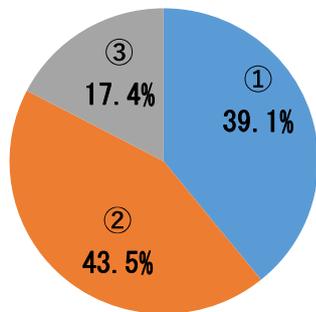


- ①自分が勉強してみたいから
- ②身近に勉強したい人がある
- ③思いつく人がある／場所（団体、職場）がある
- ④まわりにいない。自分も勉強したいと思わない

選択肢	全体回答		年齢別内訳		
			60歳以上	59歳以下	無回答
①自分が勉強してみたいから	31	29.8%	3(1)	28(14)	0(0)
②身近に勉強したい人がある	26	25.0%	7(1)	19(7)	0(0)
③思いつく人がある／場所（団体、職場）がある	23	22.1%	9(0)	13(4)	1(1)
④まわりにいない。自分も勉強したいと思わない	24	23.1%	5(2)	19(19)	0(0)
合計	104	100.0%	24(4)	79(44)	1(1)

() は外国にルーツをもつ方の人数

「③思いつく人がある／場所（団体、職場）がある」と回答した方に対し、その人（たち）は、何かの団体、職場に所属していますか。



- ①している
- ②していない
- ③無回答

（「所属している」と答えた場合）具体的にご入力ください。

現役の中学生の娘と、娘が幼稚園の時に知り合った幼稚園（及び小・中学校）と同じところに通うお子さんを持つお母さん。お母さんの方は、中学校も一応出たけどいまいち勉強がわからないので子供の宿題も見られないって事を以前ぼやいていました。

NPO法人トルシーダ

中学を卒業しないまま親に呼ばれて来日した外国籍の子ども

団地の学習支援団体

「はじめの一步教室」を始め、外国人の日本語サポートしている団体。不登校支援団体

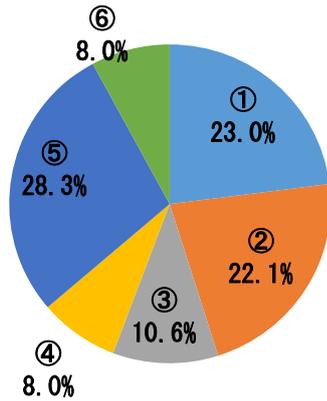
戦前、戦時、戦後で、学べなかった個人の人

在日外国人

YWCA

ELCC国際子ども学校卒業生

Q6 あなたは、なぜ夜間中学で勉強したいのですか。（いくつでも回答可）



- ① 中学校の勉強をしたいから
- ② 外国にルーツをもつ方で日本語を学びたいから
- ③ 読み書きを覚えたいから
- ④ 中学校の卒業証書がほしいから
- ⑤ 高校などへの進学や就職をしたいから
- ⑥ その他

選択肢	全体回答		年齢別内訳	
			60歳以上	59歳以下
① 中学校の勉強をしたいから	26	23.0%	3 (2)	23 (7)
② 外国にルーツをもつ方で日本語を学びたいから	25	22.1%	8 (0)	17 (11)
③ 読み書きを覚えたいから	12	10.6%	6 (0)	6 (4)
④ 中学校の卒業証書がほしいから	9	8.0%	1 (0)	8 (4)
⑤ 高校などへの進学や就職をしたいから	32	28.3%	6 (0)	26 (12)
⑥ その他	9	8.0%	4 (0)	5 (1)
合計	113	100.0%	28 (2)	85 (39)

() は外国にルーツをもつ方の人数

⑥「その他」を選択した方は具体的な内容をご入力ください。

中学1年生からグレてまともに学校に行かなかったから。1からまたやり直したい。

今の中学校もサポートしてくれますが、もっと少ない人数で勉強できたら気楽なのになあと娘が感じている様子です。

支援者としての回答を別項目にして欲しい。

今まで学校に通ったことがない外国人の知り合いがいる。

学校という学びの場を経験できなかった人にとって、教科だけを学ぶというよりは仲間と共に学ぶという学校というものを体験することが必要である。夜間は、働きながらも学ぶ時間が取れること。そこで、同じような立場の人がコミュニティをつくりながら、お互いを支え合い、「生きる」ことの学びにつながっていくからです。

わたしのまわりに日本での中学卒業資格を持たない外国につながる子どもがおり、その先（高校進学など）進むことが難しいと感じています。そういう若者が学べる場、次の選択肢（高校や就職等）につながれる場が必要だと思います。

私自身ではないが夜間中学校で学ぶことで日本の中学生として学ぶ知識や技能を身に付けた人があるから。

自分は勉強したいと思わない。

名古屋市立夜間中学の設置について

第2回 市立夜間中学設置に関する有識者等会議

【配付資料】

名古屋市教育委員会事務局
新しい学校づくり推進室

I 名古屋市が設置する市立夜間中学のめざす姿（案）

A 学校の方向性（案）

1 設置場所

[現状・考え]

市内全域からのアクセスが便利であることに加え、既存の学校施設を有効に活用することが適切である。

[事務局案]

アクセス面及び施設面から、適切な市立学校を選定し活用する。

2 設置形態

[現状・考え]

他の政令市は、単独校3市、分校3市、併設校8市となっている。(資料1)
(令和5年4月現在)

○ 単独校の特徴

義務標準法（公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律）に基づき、通常の小中学校と同様の算定が行われるため、昼間とは別に夜間の学校長を置くことができる。

○ 併設校・分校の特徴

昼間の学級数に加え、夜間の学級数を基礎として算定が行われるため、学校長は昼間と夜間あわせて1名配置とされることが多い。

[事務局案]

「単独校」として設置し、夜間専任の学校長による学校運営体制をとる。

3 入学対象

[現状・考え]

全国の夜間中学において、様々な理由から義務教育を修了できなかった方、本国で義務教育を修了せずに日本で生活を始めることになった外国籍の方など、多様な背景をもった人たちが学んでいる。

不登校特例校の申請を行い、学齢期の生徒の入学を認める自治体もあるが、全国的には少ない。

[事務局案]

夜間中学の開校時は、学齢期（満15歳に達した日以降の最初の3月31日まで）を過ぎた方で、以下のいずれかの要件を満たす方を入学対象とする（国籍は問わない）。

○様々な事情により義務教育を修了していない方

○不登校などの事情により義務教育が十分に受けられなかった方

なお、原則、名古屋市内に在住の方とするが、他市町村からの受け入れについては、愛知県教育委員会事務局との連携のもと、入学を希望する方の居住地区の市町村と費用負担などについて調整を行う。

→「不登校になっている学齢生徒への支援」は8で検討

4 学校規模

[現状・考え]

全国の夜間中学における在籍者数の平均は、3学年で39.0名となっている。（令和4年5月1日時点）（資料2）

また、愛知県教育・スポーツ振興財団が運営する中学夜間学級の直近3か年の入学者数の平均は、15.7人となっている。（資料3）

[事務局案]

全国や愛知県の実績から、1学年1学級を想定する。

5 修業年限

[現状・考え]

3年間で中学校の教育課程を修了することが困難となることも想定され、全国の夜間中学においては、3年以上の修業年限を設定している事例も見られる。（資料4）

[事務局案]

通常の中学校と同様に3年間で中学校の教育課程を修了することとするが、個々の状況に応じて最長6年まで在籍を可能とする。

6 入学時期

[現状・考え]

全国に開設されている夜間中学では、入学時期を4月のみとする学校と、4月及び9月など複数月に設けている学校がある。（資料5）

[事務局案]

4月の入学を基本とする。ただし、年度途中の入学希望者に対しても、個々の状況に応じて入学を認めることとする。

7 編入学対応

[現状・考え]

中学校の教育課程を修了するために必要な学びの期間は、入学時の習熟度や学習習得状況を踏まえて設定する必要がある。

[事務局案]

適切な学びの期間を設定するため、中途学年の2年、3年からの編入学も可能とする。なお、夜間中学の開校時においても、入学希望者の学習習得状況を確認し、すべての学年への入学を可能とする。

8 不登校になっている学齢生徒への支援

[現状・考え]

不登校生徒の一人一人の状況に応じて、多様な教育機会を確保する必要がある。文部科学省の夜間中学設置応援資料「『夜中を全国に！』」では、現在不登校となっている学齢生徒も、本人の希望を尊重した上で在籍校に籍を残したまま、教育支援センター、フリースクールなどと同様に夜間中学で支援を行うことが可能であるとしている。

また、本市のアンケート調査結果においても、中学校に通えていない学齢生徒から「夜間中学で中学校の勉強をしたい」と回答があった。

また、他都市の不登校特例校として認可された夜間中学では、入学希望者が事前に授業見学などをしてから入学を決めるといった取り組みも行われている。

[事務局案]

学級定員の範囲内において、名古屋市内に在住する中学生について、授業見学や本人及び保護者の面談を踏まえ、本人の希望を尊重した上で、夜間中学で学ぶことを可能とする。

なお、在籍校に籍を残したままとし、在籍校で指導要録上の出席扱いにすることも可能とする。

B 学びの方向性（案）

1 教育機会確保法に示された基本理念〈第3条第4号〉

- ① 本人の意思を尊重した教育
- ② その人の能力に応じた教育
- ③ 豊かな人生を送ることができるような教育 等

2 自分らしく、幸せに生きていくための学び

【学校の目指す姿（案）】

**多様性を尊重しながら、一人一人を大切にし、
誰もが安心して学ぶことができる学校**

第1回有識者等会議でいただいた主なご意見

- 互いの違いを認め合える雰囲気づくり
- 外国にルーツがある生徒が安心して学べる環境づくり
- 言語の壁に対する支援（NPO法人や地域日本語教室の活用）
- 一人一人を大切にしていける学び
- 一斉授業だけでなく個別最適な学びの展開（イエナプラン教育も参考）
- 学校行事や学級活動など、生徒が主体となる学校づくり
- 不登校生徒への対応
- オンラインを活用した日本語指導
- AIドリルを活用した授業
- 福祉と連携した教育の支援
- 名古屋市の学びを発信していく
- ナゴヤ・スクール・イノベーションにおける実践の取り入れ
- 目指すべき方向性として「ナゴヤ学びのコンパス」を踏まえる
- 学校現場に対する人員確保などの環境整備
- 交通の便がよい場所への設置 等

C 多様性への対応（案）

入学ニーズをもつ「高齢者」、「若者等の世代」、「外国にルーツをもつ方」の方々の誰もが安心して学べるように、次の①から⑦の視点を取り入れる。



① 日本語や日本語文化への不安に配慮

日本語指導の教材や映像等を活用した学習を積極的に取り入れ、生徒の理解度に応じた授業を展開する。また、日本の学校生活に関する相談などについて、母語学習協力員などの支援を受けるなど、適宜通訳等を利用できる支援体制づくりに取り組む。

② 生徒が継続して学校生活を送ることのできる環境に配慮

バリアフリーを意識した施設・設備となるよう進める。
学校行事や教材を工夫するなど、生徒が負担する費用の低廉化に配慮する。

③ 教育相談体制の充実

子ども応援室と連携を図り、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなどの専門家の支援を受けながら、きめ細かな教育相談に対応する体制づくりに取り組む。

④ 少人数支援体制の充実

学習する教科や内容によっては、一つのクラスで個別指導や少人数での指導を導入するなど、教科担当の教員だけでなく、複数の教員等で指導する体制づくりに取り組む。

⑤ 学習支援体制の充実

学習支援講師を配置するなど、個に応じたきめ細かな学習支援体制づくりに取り組む。

⑥ I C Tの活用

教室のI C T環境の整備を行うとともに、全生徒に一人1台タブレット端末を配付し、I C Tを活用した多様な学びの実現をめざす。

⑦ キャリア教育の充実

学ぶことと自己の将来とのつながりを見通しながら、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を身に付けていくことができる支援体制づくりに取り組む。

Ⅱ めざす姿の実現に向けた学校づくり（案）

D 多様性を尊重した学校づくりのための基本的な考え方（案）

- 1 多様性の尊重
- 2 学び直しの実現
- 3 社会性の育成
- 4 実生活で生きる「学ぶ力」の育成
- 5 日本語指導の実施
- 6 学ぶ喜びと自信につながる支援
- 7 自分らしい生き方への支援

E 安心して学べる学校教育の環境整備のための基本的な考え方（案）

1 学習支援体制

2 教育相談体制

3 継続した学校生活に向けた環境への配慮

4 日本語や日本文化に対する不安への配慮

5 その他の支援

(1) ICT環境

(2) 学校給食

F 設置・運営上の工夫（案）

1 教職員の勤務体制

2 公的支援

3 他市町村からの受入

G その他必要な取り組みについて（案）

1 関係機関・支援団体との連携

2 継続的な改善への取組

3 教職員の研修体制の整備

4 教職員・市民への広報の在り方

<資料編>

資料1

夜間中学（政令市）の設置形態

資料2

夜間中学（全国）の生徒数（令和4年5月1日現在）

（文部科学省 令和5年1月23日付事務連絡：

令和4年度夜間中学等に関する実態調査）

資料3

愛知県教育・スポーツ振興財団が運営する中学夜間学級の直近3か年の入学者数

資料4

夜間中学（政令市）における修業年限

資料5

夜間中学（政令市）における入学時期

資料1 【本資料2-1 (2) 設置形態】

◆ 夜間中学（政令市）の設置形態 【令和5年4月時点】

設置形態	都市数
単独校	3都市
分校	3都市
併設校	8都市

※ 単独校の3都市における設置場所

A市…市立小学校の校舎の一部を改修し複合施設として利用

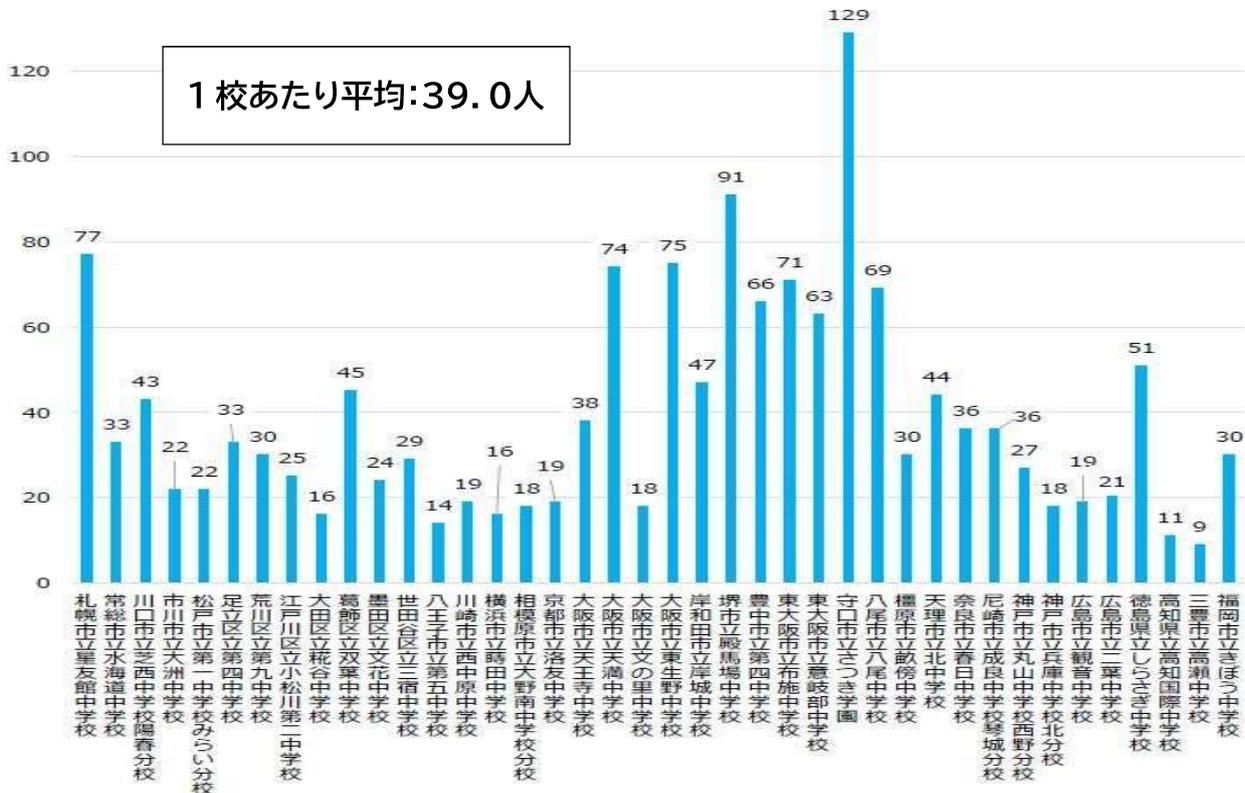
小学校や市児童会館、子育て支援施設が併設

B市…市立中学校の校舎内に単独校として設置

C市…教育センター内のワンフロアを利用

資料2 【本資料2-2 (4) 学校規模】

◆ 夜間中学（全国）の学校別生徒数（調査回答：40校）



【文部科学省：令和4年度夜間中学等に関する実態調査（令和4年5月1日現在）より】

資料3 【本資料2-2 (4) 学校規模】

- ◆ 愛知県教育・スポーツ振興財団が運営する中学夜間学級の直近3か年の入学者数

(人)

年 度	日本籍	外国籍	合 計
令和3年度	7	6	13
令和4年度	4	11	15
令和5年度	8	11	19
合 計	19	28	47

資料4 【本資料2-2 (5) 修業年限】

- ◆ 夜間中学（政令市）における修業年限 【令和5年4月時点】

最大修業年限	都市数
6年	8都市
3年	1都市
決まっていない	5都市

資料5 【本資料2-2 (6) 入学時期】

- ◆ 夜間中学（政令市）における入学時期 【令和5年4月時点】

入学時期	都市数
4月	6都市
4月と 9月	2都市
4月と10月	2都市
4月～ 9月	2都市
4月～10月	1都市
2月～夏季休業前	1都市

※ 入学時期を4月としている都市の中には、4月を基本としつつ、随時入学を認める都市や2学期からの入学を認める都市もある。